



参加お申込みについて 参加費 **2,000円** (学生 500円) 「昼食あり」の方 **+1,000円**

- 「Peatix」(ピーティックス電子決済)でのお申込みになります。
- 申込み用QRコード又は下記URL、本校HPから必要事項を入力し、お申込みください。
- 御弁当を注文される方は、お申込みの際、「(「昼食あり」)のチケットを御選択ください。ペットボトルのお茶が付きます。
- 本校周辺には、昼食をとれる店舗やコンビニ等はございませんので御了承ください。

お申込み締切日：令和7年1月24日(金)

お申込み用URL：https://ibadai-fuzoku.peatix.com

申込み用
QRコード



御連絡

- ・当日は、外靴カバーをお渡しいたしますが、必要な方は、上履きを御持参ください。
- ・お飲み物につきまして、本校内には販売機等はございません。各自、御準備ください。

アクセスマップ 茨城大学教育学部附属中学校 茨城県水戸市文京1-3-32

【交通の御案内】

- JR水戸駅から(茨城交通バス)
水戸駅北口バスターミナル7番のりば「栄町
経由 茨大 または 渡里行き」乗車、袴塚2丁
目下車、徒歩5分
- JR赤塚駅から(茨城交通バス)「曙町経由
茨大行き」附属中前下車、徒歩1分
- 自家用車を御利用の場合
常磐自動車道・水戸インターより車で20分
水戸北スマートインターより車で10分
那珂インターより車で20分

※お車で来校される方は、**生涯学習センター跡地**を駐車場として御利用ください。本校には、駐車スペースの関係で、御駐車いただくことができません。可能な限り、公共交通機関を御利用いただき、御来校くださいますようお願い申し上げます。



お問合せ先

茨城大学教育学部附属中学校 担当(研究主任) 安 暁彦

Tel:029-221-5802/3623 Mail:jhs@ml.ibaraki.ac.jp

令和6年度 茨城大学教育学部附属中学校

公開授業研究会

第2次案内

令和7年 **2月14日(金)**

研究主題

学びの価値を実感する生徒の育成(3年次)

本校が考える「学びの価値を実感する生徒」は、「学ぶことが楽しい・嬉しい」、「学んでよかった」など学ぶことに対して肯定的な感情を抱くとともに、その学びが生活や社会の「どのような場面で」、「なぜ生きるのか」を理解している生徒です。そのような生徒は、生涯を通して主体的に学び続け、持続可能な社会の創り手となるはず。本年度の授業研究会では、本校の3年間の研究成果に対して皆様から御意見と御助言をいただき、それを次年度からの新しい研究主題に繋げてまいりたいと存じます。多くの皆様の御参加をお待ちしております。

令和6年11月

茨城大学教育学部附属中学校

校長 野崎 英明

当日スケジュール

8:30~9:00	受付(武道場)
9:00~9:40	全体会(体育館)
9:50~10:40	公開授業Ⅰ
10:55~11:45	公開授業Ⅱ
11:45~12:45	昼食休憩 AI活用 座談会(体育館) 12:15~
13:20~14:30	研究協議Ⅰ 各教科
14:40~15:30	研究協議Ⅱ 道徳 総合 特活

【後援】茨城県教育委員会 茨城県教育研究会

公開授業Ⅰ 9:50～10:40

AI…言語生成AI活用授業

教科	教科が考える 学びの価値	授業者 公開学級(会場)	単元名(題材名) 授業説明	助言者 共同研究者
社会	社会を創るって おもしろい!	櫻井 弘平 2年3組	「地域の在り方」 生徒は「日本の諸地域」で学んだ視点を基に町の様子を見つめ、私たちの住む町のこれからについて提言します。主張と根拠を結び付ける論証を軸にした社会科の授業を提案します。	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 篠崎 智典 先生 茨城大学教育学部 木村 勝彦 先生 金久保 響子 先生
数学	数学を生かすって おもしろい	庄司 貞夫 1年4組	「空間の図形」 生徒は錐体の体積について、日常生活に現れる事象を数理的に捉え、得られた結果の意味を考察します。数学を日常生活の中で生かす面白さを実感できる授業を提案します。	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 菊池 康浩 先生 茨城大学教育学部 荻原 文弘 先生
理科	科学的な視点で 見るって おもしろい AI	諸岡 史哉 2年2組 (理科第1教室)	「気象のしくみと天気の変化」 生徒は日常生活における身近な気象現象を体感し、その現象について言語生成AIの支援を受けながら探究します。現象を科学的な視点でみる面白さを実感する授業を提案します。	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 中川 卓浩 先生 茨城大学教育学部 宮本 直樹 先生
保健体育	Physical literacyを 高めるって 気持ちがいい	佐藤 道子 3年1組 (多目的室)	「用途に合った正しい医薬品の使い方を学ぼう」 一般医療品の説明書を使用しながら、事例に合う対処療法薬を探します。これらを通して、実生活に生きる力を身に付けるとともに、オーバードーズの危険性にも着目した授業を提案します。	教育研修センター 教科教育課 青野 寛子 先生 茨城大学教育学部 上地 勝 先生
技術家庭(家庭分野)	生活や社会の 課題を解決すると うれしい	原田 久美 1年1組	「家庭生活と地域の関わり」 生徒が自ら、様々な人との関わり方について課題を見付けます。それらの課題を実現するために、対話的な活動を通して、工夫して思考しようとする態度を育む授業を提案します。	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 寺門 友紀 先生 茨城大学教育学部 野中 美津枝 先生
特別の教科道徳	考え、議論するって 最高の道しるべ AI	小林 圭太 3年2組 (ラーニングcommons)	「手品師」(自主、自律、自由と責任) 生徒が教材を通して葛藤場面に出会い、言語生成AIを含めた他者と考え、議論することで考えを広げ深めます。内容項目について考え、議論する意義を実感できる授業を提案します。	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 谷島 竜太郎 先生 茨城大学教育学部 宮本 浩紀 先生
グローバル市民科(総合)	グローバル市民に なっていくって うれしいな AI	奥谷 大樹 1年2組 2年4組 3年3組 (集会室)	「グローバル市民として生きていくこと」 生徒は様々な講座の学びを振り返りながら、「グローバル市民」のあるべき姿について異学年で語り合います。グローバル市民として成長していくうれしさを実感する授業を提案します。	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 大山 喜裕 先生 茨城大学教育学部 小林 伸彦 先生
特別活動	みんなで学級・ 学校・社会を創る ことって喜びだ AI	高塩 和樹 2年1組	「委員会からの提案について学級審議を行おう」 生徒は学校生活をより良くするためにスクールメイキング委員会から提案された内容について、学級審議を行います。この学級審議を通して、より良い学校を創造しようとする授業を提案します。	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 古屋 雄一朗 先生 茨城大学教育学部 杉本 憲子 先生

公開授業Ⅱ 10:55～11:45

AI…言語生成AI活用授業

教科	教科が考える 学びの価値	授業者 公開学級(会場)	単元名(題材名) 授業説明	助言者 共同研究者
国語	言葉を紡ぐって ハッ 発見だ AI	中村 麻里那 2年4組 (ラーニングcommons)	「思考力を鍛えるChatGPTの使い方 ー多様な考えができる事柄について意見文を書くー」 多様な他者の立場に立ってChatGPTが導いた反論を、いかに乗り越えて意見文を記述できるかに挑みます。思考力を鍛えるためのツールとして、言語生成AIを活用する授業を提案します。	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 加藤木 俊 先生 茨城大学教育学部 鈴木 一史 先生
音楽	様々な音や 音楽との 出会いって すばらしい	前島 麻美 1年4組 (音楽室)	「受け継がれる音楽」 生徒は民謡音楽の特徴やその伝承の在り方について理解を深めます。民謡の鑑賞や「音楽Webアプリ」を活用した創作活動を通して、音楽の継承性を考察する授業を提案します。	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 井上 寛士 先生 茨城大学教育学部 秋葉 桃子 先生
技術家庭(技術分野)	生活や社会の 課題を解決する とうれしい	川崎 裕典 1年3組 (技術室)	「15年後の未来の材料と加工の技術に イノベーションを起こそう」 生徒は15年後の未来のニーズを班で予想して、新素材や新加工法を使った製品を構想します。未来の材料と加工の技術にイノベーションを起こす授業を提案します。	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 錦織 孝俊 先生 茨城大学教育学部 川路 智治 先生
美術	美と捉えるって 無限だ	小倉 千絵 2年2組 (美術室I・II)	「もてなしの美」 和室空間を設える体験型鑑賞を提案します。室内装飾を教材として、客人をもてなしたり、もてなされたりする体験を通して、日本の美術文化についての見方や感じ方を深めます。	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 野田 こず恵 先生 茨城大学教育学部 向野 康江 先生
外国語(英語)	Interaction opens the doors to our future	上曾 恵理子 2年3組 (多目的室)	「Stage Activity 2 "Research and Presentation"」 生徒はテーマに基づいたプレゼンテーションを完成させるために、その中間報告を英語で行います。英語の有用性や、自分がもっている英語の力に気付くことができる授業を提案します。	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 虻川 幸平 先生 茨城大学教育学部 青田 庄真 先生
特別の教科道徳	考え、議論するって 最高の道しるべ AI	横田 聡 3年4組	「手品師」(自主、自律、自由と責任) 生徒が教材を通して葛藤場面に出会い、言語生成AIを含めた他者と考え、議論することで考えを広げ深めます。内容項目について考え、議論する意義を実感できる授業を提案します。	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 谷島 竜太郎 先生 茨城大学教育学部 宮本 浩紀 先生
グローバル市民科(総合)	グローバル市民に なっていくって うれしいな AI	奥谷 大樹 1年2組 2年1組 3年3組 (集会室)	「グローバル市民として生きていくこと」 生徒は様々な講座の学びを振り返りながら、「グローバル市民」のあるべき姿について異学年で語り合います。グローバル市民として成長していくうれしさを実感する授業を提案します。	茨城県教育庁 学校教育部義務教育課 大山 喜裕 先生 茨城大学教育学部 小林 伸彦 先生